記者発表資料

平成21年12月07日

国土交通省東北地方整備局
福島河川国道事務所

平成２１年度水閘門等操作員講習会を開催します

洪水時に河川からの逆流を防ぐために設置されている水閘門等（水門・樋門・樋管・陸閘）の適切な操作運用の向上を目的とした講習会を水閘門等操作員を対象として開催しますので、お知らせします。

１．講習会趣旨

福島河川国道事務所が管理する河川の延長は、阿武隈川を始め支川の荒川、広瀬川、松川、摺上川、笹原川、釈迦堂川の１２９．１４ｋｍに及びます。

この区間には、操作員を配置している水閘門等が１９７施設（伏黒出張所管内６６施設、郡山出張所管内１３１施設）あり、洪水時にはこれらの施設を操作することで地域の被害軽減に役立っています。

水閘門等操作員は、洪水時にはゲート操作をすることにより河川からの逆流を防止し、また、平常時には定期的に点検を行うという水閘門等の操作及び施設管理を担っています。

福島河川国道事務所では、これらの業務を地域の方々２７４名（伏黒出張所管内１０１名、郡山出張所管内１７３名）にお願いしています。

当講習会は、今年度の出動状況や操作員から指摘のあった不具合への対応等を確認し、ゲート操作の留意点等適切な操作運用の向上を図っていくことを目的として開催します。

２．講習会日程

（郡山出張所管内）
１．実施日時　　平成２１年１２月１０日(木)１３時３０分～１６時３０分
２．開催場所　　「郡山商工会議所会館」１階　大ホール

（伏黒出張所管内）
１．実施日時　　平成２１年１２月１１日(金)１３時３０分～１６時３０分
２．開催場所　　「コラッセ福島」３階　企画展示室

３．講習会内容

・水閘門等の操作点検に関する留意点
・平成２１年度の出水対応を踏まえた意見交換　等

※添付資料：　水閘門等操作員の役割について

＜記者発表先＞福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ

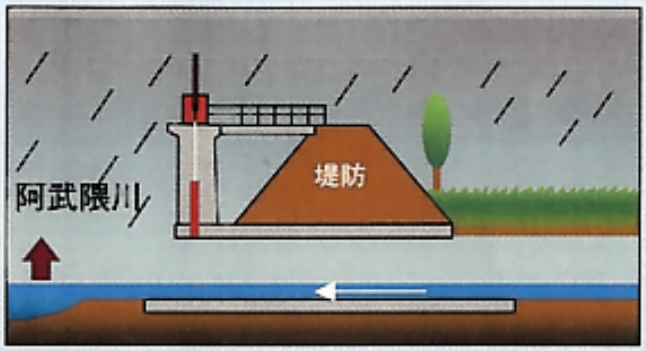
問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　福島河川国道事務所 河川管理課長　片桐　真也（内線331） 防災課長　　山口　是治（内線281） 電話　024（546）4331（代表）

ご存知ですか？

地域を水害から守る樋門・樋管操作員の仕事を！

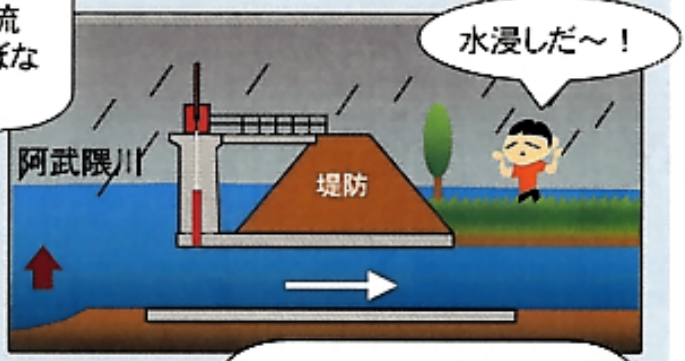
樋門（ひもん）・樋管（ひかん）操作員の仕事を紹介します

大雨の時に昼夜関係なく樋門・樋管の開閉操作を行うのが樋門・樋管操作員です。樋門・樋管の操作は、地域の安全と財産をまもる大切な仕事なのです。

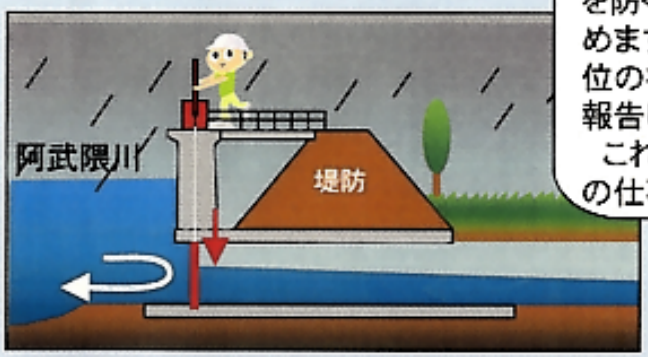


大雨が降ると、阿武隈川の水かさがどんどん増えます。

阿武隈川の水位が支川等の水位より高くなると阿武隈川の水が支川に流れ込み、宅地や田んぼなどが浸水します。



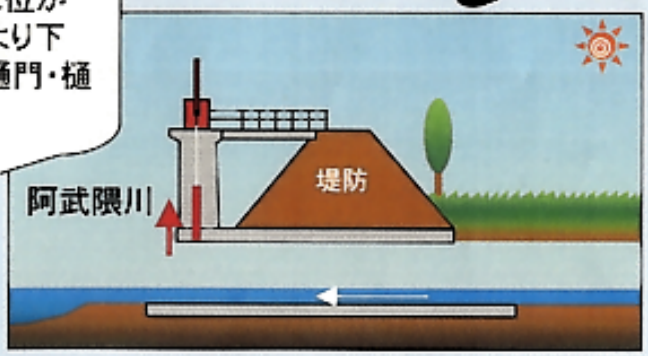
水浸しだ～！



宅地や田んぼなどの浸水を防ぐため樋門・樋管を閉めます。また、定期的に水位の状況を河川管理者に報告します。
これが樋門・樋管操作員の仕事です。

操作員は雨の降っていない時でも、ゲートに異常が無いか巡視・点検を行っています。

阿武隈川の水位が支川等の水位より下がったときに、樋門・樋管を開きます。



釜沼樋管（郡山市富久山地区）

